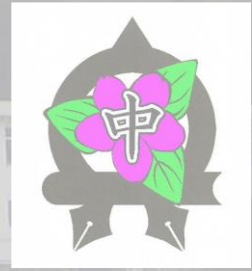


# 協働



## ふれあい月間×ほめる力

校長 原 善哉

東京都は、6月、11月、2月を「ふれあい月間」と位置付け、社会全体で児童・生徒の健全育成・いじめ防止を図る取組みを行っています。本校も、生徒達が安心な学校生活を送れるように取り組んでおります。

ふれあい月間に寄せて、三重県にある自動車教習所の話を書きます。自動車教習といえば厳しい教官に叱られながら免許を取得した思い出がありますが、おそらく共感される方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

実はこの教習所、「叱る」ことではなく「ほめる」ことで教習を行う「ほめちぎる教習所」なのです。

初めて聞いた時には、失礼ながら、ただ教習所の集客を上げたいだけの、若者に迎合した取組だと思いました。むしろ命に関わる資格であるのに、そんなに甘いことで良いのだろうかとも感じました。

思った通り、その教習所への入所者はとても増加したそうです。しかし調査報告それで終わりではなく、教習生たちの「運転免許試験の合格率は増加」し、さらにはなんと「交通事故の事故率は減少」しているというのです。つまり「ほめ」によって甘やかされているどころか、試験では実力を発揮し、運転では高いパフォーマンスを発揮させているという実績があるのです。私はとても驚き、同時にこのメカニズムを知りたいと思いましたので、教習所経営者の著書「ほめちぎる教習所のやる気の育て方」を読んでみました。

著書には「ほめるちぎる教習所」として教習所の改革を進め、教官全員が本気で「ほめる練習」をして、お世辞でもおべっかでもない、教育としての「ほめ方」を体得していることが書かれていました。まさに「ほめて伸ばす、ほめて育てる」手法を整理し体系化し見事に実践していたのです。さらにその効果は教習生にとどまらず「教官自身が気持ちよく仕事ができるようになったこと」や「職場の雰囲気がとても良くなったこと」「教官や教習生の家族にまで良い影響が伝わっていること」なども書かれていました。とても素晴らしいと思いました。同時に教師として親として、私たち大人が実践すべき内容だと感じました。

著者いわく「ほめ」力を身に付ける方法は「まずは毎日、人でも物でもその『いいところ探し』を続けてください。その取組(練習)を続ける中で、ほめる相手の行動や人間性の理解が深まり、本気でほめることができるようになるんです。そうすると信頼関係が深まり、伝えたいことが伝わりやすくなるのです。つまり叱る必要がなくなるのです。だまされたと思って3ヶ月は続けてみてください。」とのことでした。これ、実は最新のスポーツコーチングやカウンセリングと、全く同じ考え方、同じ手法なのです。

「ほめられる(認められる)」ことで、「やる気」「パフォーマンス」が高まるのですから学校生活で考えると「免許の合格率が増加」するように「生徒の学力が向上」し「事故率が減少」するように「ケンカやいじめが無くなっていく」そんなすてきな日常を作ることができるのだと私は強く信じています。常に認め続けること、ほめ続けることは、すぐには難しいでしょう。しかし3ヶ月練習すればできるようになるのなら、取り組んでみようではありませんか。大切なのは結果をほめるのではなく取組や努力(プロセス)をほめることです。



学校とご家庭・地域の皆様と連携した「ほめシャワー」で、この「ふれあい月間」を「ほめ強化月間」にして、奥中生達に最高のパフォーマンスを発揮させてあげましょう。どうぞよろしく願いいたします。

- ★「ほめる」ことは「認める」こと      ★「ドンマイ」より「ナイストライ」
- ★「すみません」を「ありがとう」に。      ★ ほめ言葉3S「すごい」「さすが」「素晴らしい」
- ★私メッセージ「君ができて、私は嬉しい」「君が成功して私は助かった」
- ★叱る教え方は「基準に満ちていない部分を指摘する」もの。

ほめる教え方は「今、基準のどこまで、できているのかを知らせる」もの。

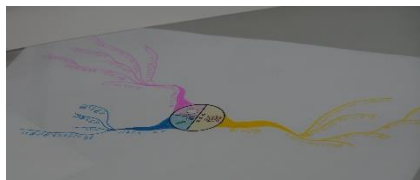
## 5・6月の奥多摩中学校

### 5月17日（水） 生徒総会

各委員会の活動方針や活動計画、学校生活における様々な議題について質疑応答を行いました。事前に各クラスで行われた議案書討議から当日の運営まで、生徒会を中心として生徒主体で進めました。



### 5月18日（木） マインドマップ講習（2年）



1年生で学んだことを更に発展させた内容で講習を実施しました。提案に対して、クリティカルシンキングを利かせ「本当にそれでもいいのか？」という視点で向き合い、建設的・批判的に考えを深めました。



### 5月27日（土） 体育大会



清々しい晴天の下、数年ぶりに全日開催で実施できました。赤・青・黄、伝統の3色の縦割りブロックでは3年生を中心にリーダーシップとフォロワーシップが遺憾なく発揮され、練習から本番まで、生徒が主体的に取り組む姿が見られました。保護者の方、御来賓の方も大勢参観してください、改めて「地域に支えられている学校」が感じられました。



### 6月5日（月）～9日（金） 職場体験（2年）

奥多摩町や青梅市の10の事業所に御協力をいただき、職場体験学習を行いました。慣れない環境や作業内容に緊張の毎日でしたが、5日間の体験を通して「働くこと」について多くのことを学ぶことができました。事業所の皆様、大変お世話になりました。ありがとうございました。今回の体験で学んだことを、7月13日（木）の職場体験報告会で発表します。



古里図書館



かわなべ鶏卵農場



さかな養殖センター



SOBATARO café



卵道

# 部活動の様子

## スポーツ部

バスケットボールに取り組んでいます。ドリブル、パス回し、シュート、3対3などを通して、互いに切磋琢磨しながら個人の技術やチーム力を高めています。

現在、体育の授業でバレーボールを行っているので、今後はバレーボールに取り組んだり、ボランティア部と一緒にグラウンドゴルフにも挑戦したりする予定です。



## カルチャー部

5/31（火）に調理実習でクレープを作りました。新型コロナウイルスの影響で授業で調理実習ができなかったこともあり、中学校での調理実習は初めての体験でした。焼き方をじょうずに調整する班もあれば、最初は難しくても何枚か焼いているうちに、



きれいに焼けた班もありました。作ったクレープは全員で美味しく食べました。

また、2年生が職場体験で不在の間は、1年生と教員でフェルトでキーホルダーを作りました。とてもかわいくできました。

## アウトドア部

アウトドア部では、キャンプなどの活動に必要な、ロープワークの練習をしました。さらに、テントやタープの設営練習をしています。いまは、タープを一人で立てることに挑戦しています。



## ボランティア部

5/21（日）、「高齢者が住みやすい町づくり」活動の一環として、氷川小学校校庭で高齢者の方とグラウンドゴルフを行いました。高齢者の方のプレーに、生徒たちは「ナイス！」と声援を送ったり、高齢者のホールインワンに「おおー！」とどよめいたりしていました。

現在、社会福祉協議会とのコラボで「ポイポイ大会」を企画しています。高齢者の方に、奥多摩中学校にお越しいただき、「ポイポイ」というゲームと一緒に行動するという企画です。3年生にとっては最後の活動になりますので、企画・運営などすべて部員で行っていきます。7月に開催しますので、是非御期待ください。



## 中体連の活動

<剣道> 第8ブロック春季研修大会（団体戦）

男子（ ・ ） 出場

奥多摩中・新町中（合同チーム） 1回戦 3勝2敗 羽村一中  
2回戦 1勝3敗1分 東海大菅生中

女子（ ・ ） 出場

奥多摩中・新町中（合同チーム） 1回戦 1勝2敗 福生一中

<柔道> 第41回多摩地区中学校体重別柔道選手権大会

90kg超級 敢闘賞 受賞 都大会出場決定（7月27日）